

Azumino Interchange



名称変更したことを告知する横断幕（上）安曇野IC料金所のほか市内の道路案内標識も安曇野の名称に変更された（右）



式典会場横のサンモリッツ大ホールでは、市と近隣市町村の特産なども販売し、地域の魅力を発信するイベントが開催された



イベント会場前では名称変更を記念したストラップが配られた



配布されたストラップ



名称変更前の「豊科」インターチェンジ料金所の表示板



10月7日早朝にインターチェンジ料金所の表示板が付け替えられた。作業員が「豊科」のシールをはがし、「安曇野」の文字が現れた



名称変更を告知する懸垂幕（上）名称変更後、安曇野インターを利用する自動車（10月7日）（左）



うわだいら なおき
上平 直樹さん
(豊科南穂高)

安曇野地域の発展に期待

県外の人に安曇野から来たと話すと安曇野のことを知っていて、その知名度の高さに驚きました。この機会に観光など地域の産業がもっと発展するといいですね。



ないとう やすこ
内藤 恭子さん
きょうすけ 慶介くん
(穂高北穂高)

安曇野を多くの人に知ってもらう機会に

使い慣れた豊科ICの名がなくなるのは少しさみしいですが、県外など多くの人にもっと知ってもらいたい機会だと思っています。



たざわ るみ
田澤 瑠美さん
ゆいは 結葉ちゃん
(豊科)

とても分かりやすくなりました

県外から引っ越してきて2年目になりますが、来た当初は「豊科」の地名に慣れませんでした。安曇野になってとても分かりやすくなったと県外にいる家族と話しました。



昭和63年8月3日の豊科インターチェンジ開通を伝える、当時の「広報とよしな」。紙面では高速道路の開通を祝い、通り初めを行った写真が掲載され、開通が安曇野一円の産業・経済・文化などの発展につながることに期待を寄せていることが伺える

◎巻頭 安曇野の名を全国へ インターチェンジ 安曇野 IC に名称変更



宮澤市長らがくす玉を割って名称変更を祝った

昭和63年8月の開設以降24年間、安曇野および大北地域への玄関口として利用されてきた豊科IC（インターチェンジ）が、10月7日、安曇野ICに名称を変更しました。市では同日、安曇野スイス村サンモリッツ（豊科南穂高）で記念式典を行いました。式典には国、県、近隣市町村の関係者約1000人が出席しました。式典で宮澤市長は「名称変更を機に近隣市町村と連携しながら、全国に情報を発信していきたい」と話しました。市では今回の名称変更を機に全国へ向け「安曇野」の知名度向上を図り、市民の皆さんと共に「田園産業都市安曇野」のさらなる地域発展・観光振興を進めていきます。